

期間
短縮

費用
減少

記録
保存

3大メリット！ 外壁調査の新定番

建築基準法第12条1項（定期報告：特定建築物）より建物竣工又は修繕工事から10年毎に外壁の全面打診等が求められており、その調査コストが所有者に大きな負担となっています。そこで、外壁調査の中で調査コスト削減が最も有効と考えられる赤外線調査にドローンを組み合わせた、新サービスをご提案します。

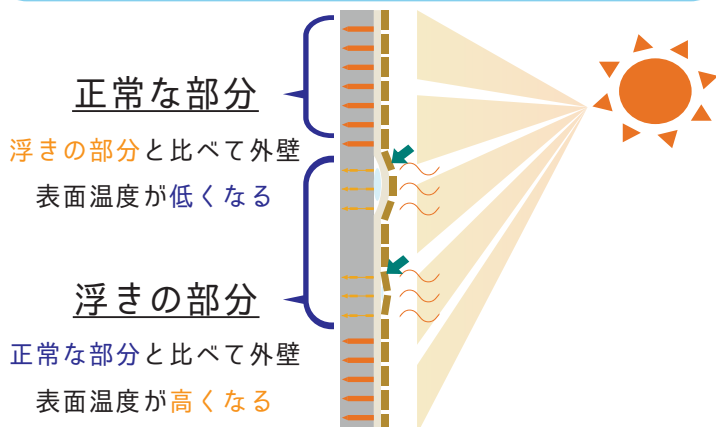
ドローン赤外線外壁調査

※特定建築物定期調査報告（全面打診等調査）に対応しております。

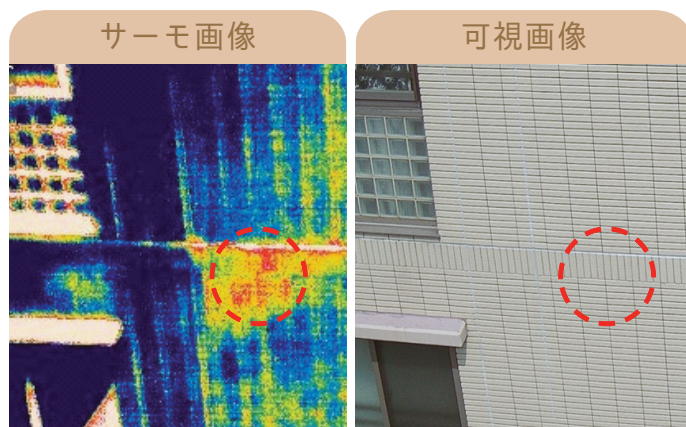
赤外線カメラ熱画像診断のしくみ

外壁の表面温度差にて
「正常な部分」と「浮きの部分」を判定

判定方法



実際の調査画像



※建物周りの環境及び壁面の状況により温度差が発生しない箇所について、調査ができない場合がある為事前調査を実施し調査の可否について判断します。

メリット

- ① 調査コストが安い：打診法の1/4
- ② 調査期間が短い：打診法の1/7
- ③ 安全作業（足場やブランチ等を使用しない）
- ④ 調査による外壁への影響がない
- ⑤ 居住者への影響がない
- ⑥ 調査結果をデータとして記録できる

注意事項

- ① 悪天候時調査不能
- ② 外壁材料や環境によって対応不可
- ③ 北側壁の調査不能
（北側の壁は熱変化がない為、熱画像での判断が不可能）

比較項目	打診調査（打診法）	ドローン赤外線調査
作業期間	△ 足場やブランチ等設置・撤去	○ 打診法の 1/7
安全性	△ 高所作業	○
気象条件	○	△ 悪天候時調査不能
外壁材の条件	○	△ 使用材料・環境により調査不可
外壁への影響	○	◎
判定方法 / 調査結果	△ 調査員の経験値によるもの	○ 客観的なデータで判断、保存も可能
調査範囲	○	△ 北側壁調査不能

使用機器

〔ドローン〕

機種名： MATRICE210 RTK V2（DJI 製）

寸 法： 展開時 /887×880×408mm
折り畳み時 /716×242×236mm

重 量： 6.14kg

最高速度： 57.6km/h

最大飛行時間： 23 分

〔赤外線カメラ〕

機器名： Zenmuse XT2（DJI 製）



業務の流れ

- 1 事前調査 建物の状況等を調査、ドローン調査可否の判断
- 2 見積書作成 調査可能な場合、事前調査内容を基に見積書の作成
- 3 契約 飛行計画書・金額を確認頂き契約
- 4 現場調査 ドローン調査の実施
- 5 画像分析・報告書作成 撮影した画像を分析、報告書の作成
- 6 調査報告書提出・内容説明

